



E-mail: office@npo-parler.com パルレHP: <http://npo-parler.com/>

代表理事あいさつ 熊谷 恵美



パルレ会員の皆さま、すでに大変暑い日が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。今年度も総会を無事に終わることができましたこと、感謝申し上げます。

おかげさまですでに2回の啓発講演会を終えることができました。パルレの講演会は、普段の保護者相談の中から出てきた地域課題やご本人様の活動での様子などから、スタッフでテーマや講師を選定し、企画を立てております。そのため「本当に今、聞いてよかった」「知りたかったことが知れた」「明日から役に立つ」といったお声を多数いただいております。パルレの活動は臨床と講演会が一体となって、相乗効果をあげているのではないかと、手前味噌ながら感じております。

さて先日、当法人に品川区子ども育成課より、「品川区子

ども・子育て支援事業計画」および「品川区子ども・若者計画」策定にあたり、品川区の子ども・若者・子育ての支援現場における取組実態やニーズを把握するためのヒアリングのご依頼を受け、熊谷がお答えさせていただきました。また同月にはNHK for Schoolの「u&i」という、様々な困難を抱える子どもの特性を知ること、多様性への理解を深めることも向け番組の制作者の方から、番組作りの参考にしたいとのことで、パルレのスタッフが取材を受けました。パルレが日頃、支援の中で大切にしているものや願いが品川区はもちろんのこと、全国様々なところに広がり、また生かしていただくと大変うれしく思います。

※番組「u&i」はNHKのホームページからも見ることが出来ますので、ぜひご覧ください。

NPO 法人パルレ 2024年度総会報告

日時 6月15日

場所 大井町事業所（+オンライン）

出席者 正会員15名

審議事項

第1号議案 2023年度活動報告

第2号議案 2023年度決算報告

第3号議案 2024年度活動計画

第4号議案 2024年度予算案

すべて異議なく承認されました。

役員

■代表理事 熊谷恵美

■理事 阿部祥子・植田みおり・内山登紀夫・岡崎真理子・木下暁子・黒田美保

■監事 幾島博子・菊地喜美子

※敬称略・50音順

倉田幸恵理事はご都合により退任されました。長い間ありがとうございました。



2024年度事業内容・スタッフ体制

パルレ/ら・るーと 面談

■心理職 4名 ■ペアレントメンター 2名

ら・るーと 本人支援活動

■心理職 4名 ■担当スタッフ 4名

パルレ/ら・るーと 講演会

■担当スタッフ 1名

パルレ 保護者活動

■心理職 1名 ■保護者スタッフ 2名

相談支援事業所

■管理責任者 1名 ■相談支援専門員 4名

すまいる巡回相談

■心理職 2名 ■事務 1名

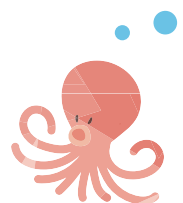
よかりんく〈青年期余暇支援〉

■心理職 2名 ■担当スタッフ 4名

事務局

■会計・労務 1名 ■事務 2名

■広報（パルレ新聞）3名





2024年度第1回啓発講演会 5月18日 きゅりあん大会議室
 基礎から学ぶ発達障害－思春期に大切なこと
 講師：植田 みおり氏 (NPO法人パルレ臨床発達心理士)

発達特性のある子どもたちにとっての思春期の課題とはなんでしょう。彼らの試行錯誤を支えるために、親や周囲の大人が知っておきたい大切なことを、発達障害の基礎知識とともに、植田心理士がお話ししました。ご本人の過剰適応の危険性はよく言われるようになりましたが、「保護者、支援者も自分の過剰適応に気をつけよう」という発言が印象的でした。当日は、昨年に引き続き「品川ケーブルテレビ」の取材が入り、後日ニュースとして放映されました。インタビューにお応え頂いた参加者の方々、ありがとうございました。

■ご家族の方の感想

- 自分の日常で迷った時に、植田先生の言葉はヒントをくれたり、立ち戻らせてくれたり、と私の糧となっています。今日も「相談しない相談」グツときました。
 仕事で、子ども達の育ちに寄り添う立場として、現実的には俯瞰して、適時、あるべき関わり方をしているつもりでも、私の脳内が過剰適応になりそうになることがあります。
 いい意味で、ギアの調整が明日からできると思います。(支援者・福祉)
- 本日の講義で息子に現れる断片的な日常の現象、事象が点と線で繋がった思いで、すんと腑に落ち、頭も心も整理されました。明日から、将来を見据えて「相談しない相談」をサポートできるようにしていきたいです。
- 親としてどう接していいのかわからなかった部分が明確になり、これから子供に対しての接し方を変えていこうと思いました。すぐくためになり、本日お話を聞いて良かったです。
- わかりやすくゆっくり丁寧に説明いただきましてありがとうございます。「やめてもいいかも」、の言葉に救われました。ありがとうございます。
- 思春期に大切なことが分かってよかったです。今、ここで傷つけてしまったら、状況が余計悪くなってしまうと思います。メンタルヘルスが大事ですので、無理をさせずにいきたいと思います。
- 勉強のスタイル、「ちゃんと机の前に座って」と声をかけていたことに気づきました。ずっとベッドにいる娘ですが、それでもいいと思うことができました。娘のスタイルだったんですね。大変勉強になりました。
- 私は医者に診てもらっていないので発達障害ではないかもしれませんが、先生の話聞いて、自分も昔似たような特徴を持っていたなと思いました。宿題隠したり、好きなことばかりやっていたり。気づくことができました。あまり違いはないのかもしれないですね。ただ過度に特徴が出ているだけかもしれないと思いまし

た。違っていたらごめんなさい。(勉強しに来た引きこもり)

- 体力がなくて外に行きたくても行けない、サードプレイスに繋がらないのが家族の負担になっています。変わらないことも支援ですね。
- 小学5年生の男の子の母として参加しました。講演内容とてもわかりやすく、今日からやってみようと思え、参加して良かったと感じています。「相談しない相談」簡単にはいかないと思いますが、少しずつやってみます。親の言うことを素直に聞いてくれる年齢は過ぎていったことを実感して、将来につながる支援を続けていきたいと思います。

■支援者の方の感想

- とてもわかりやすく、勉強になりました。学校現場で働く者として、古くから踏襲されてきたものや考え方、「〇〇べき」論からの脱却をどんどん進めて、本当に一人一人を大切にできる現場を作っていきたいと改めて思いました。(教育)
- 先生のお話は、わかりやすくとてもためになるので毎回聞きに来ています。私は学童期の児童を見ることがあるのですが、私も元教員なので学校というシステムは固いなあと感じています。思春期の話、とても勉強になりました。(教育)
- 学校に行く、行かない、宿題のことなど、不登校の子どもたちと重なる部分がたくさんありました。発達特性のありなしをこえて、みんなが自分らしくいられる社会になるといいなと思いました。(品川冒険広場担当)
- 発達障害に限らず、すべての子どもたちが困っていることの支援につながる勉強をさせていただいて感謝しています。思春期だからこそ思い悩まず、表出させやすい環境や、大人の関わりはとても重要だと思いました。少しでも理解が進み、よりよい思春期を過ごし、よい成人期を迎えることは社会を明るくして行くものだと思います。また伺いたいです。(福祉)

4月～6月のら・るーと本人支援活動

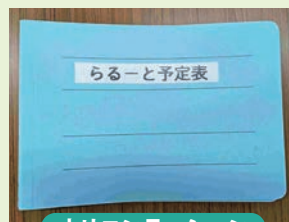
個別活動



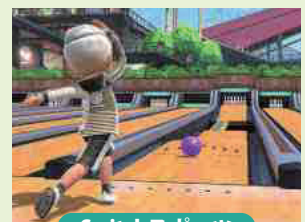
フェルトワッペン作り



スマブラ



オリエンテーション



Switchスポーツ

第2回啓発講演会 6月22日 オンライン

発達障害のある児童生徒への合理的配慮—ICT活用を含めた学びの保障—

講師：坂井 聡氏（香川大学教育学部附属特別支援学校校長） アンケートより



教育における合理的配慮とは、障害のある児童生徒の学ぶ権利を保障するために行う、「必要かつ適当」な「過度の負担を課さない」変更・調整のことを言います。そこで生まれるのが「どこまでが適当？」という疑問です。今回は、特別支援教育の実践家であり、学びのためのICTの研究開発で数々の賞を受賞されている坂井聡先生をお招きし、お話を伺いました。

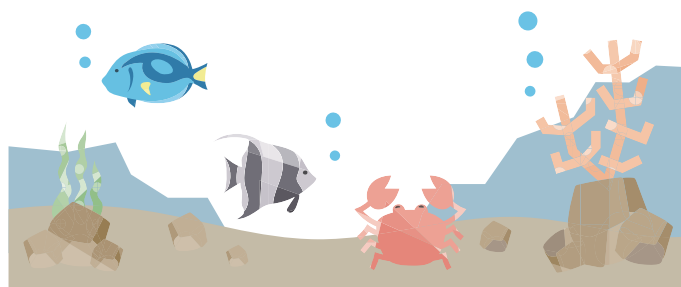
■支援者の方の感想

- これからの社会を見据えた支援の視点を整理することができました。彼らに対する自立、合理的配慮が支援者側の認識だけで進められていたと気付かされました。彼らが、社会を構成するメンバーとして平等に活動できる支援、環境設定に努めていきたいと思えます。（福祉）
- 現場で壁にぶつかったとき、その原因を自分ではなく相手にあると感じてしまう時があります。そのようなとき（自分に余裕がないとき）は、初心に戻ることを心がけています。（福祉）
- 医療職として知的・発達障害のある子と1対1で関わっています。その子の自己肯定力が高まる環境調整ができるよう、またできることについて本人と一緒に考え、生きていく意欲が出るような関わりができるように目指していきたいと思えました。（医療）
- 現在、スクールカウンセラーをしているのですが、とても感動する内容でした！私の勤務校の教員にもこの講座を見て欲しいです。早く今回の内容が広まることを願っています。子どもの意欲を削がない！意欲をみせたら「やった！できた！」が味わえる機会をつくる！当事者だけでなく、周りもコミュ力をあげていくなど書ききれませんが本当に大切だと思います。心理職としてもコツコツとそれらを伝えていきたいと思えます。（教育）
- 坂井先生の教育実践に基づいた研修内容は、一つ一つのお話にその場面が浮かんできて、大変わかりやすかったです。現場の職員がおちいりやすいマジョリティ側の社会に合わせようとさせること、合わせることができる様に指導することが使命のように感じて現場で苦しんでいる教師や子どもたちに、その殻を破ってA村からB村の社会との融合を目指す、B村の子どもが常に背伸びを強いられることない教育への転換をしていけるよう、SCとして学校へのコンサルテーションをしていきたいと思えます。（教育）
- i) 子どもがみんなが同じ景色がみられるように、我々大人が環境を変えること（作ること）、ii) 自立とは、サポートを受けながら自分らしく生きること、iii) 他と比較するのではなく、自分が理解することができるようになったことを実感させること、iv) 子どもが騒いだり、大声をだすのには理由があるはず、肯定や共感しながら話を聞くことなど大変参考になった。また、文字などを書くところがうまく出力できないのであればICTを活用して、その子どもの能力を引き出すことに賛同し、また、子どものころからICTを使いこなし、社会に出た時（就職した際）にICTに対応できるような教育もこれからは一層必要ではないかと思われた。あらためて、障害を持った子どもたちが、生まれてきてよかったと思える、社会や環境づくりに私自身も少しでもかかわりたいと思えました。（教育）

- 「うまくいかなかったら外的要因に」という言葉が印象に残りました。子どもたちもちろんそうですが、関わり手自身も子どもたちと関わる中で「上手くいかなかったな…」と思うことがあります。その時に、自分が悪いと後悔し自己嫌悪に陥ってしまうのではなく「じゃあ環境を変えてみよう」と思えることが、物質的な環境や自分の子どもたちへの対応などの変化に繋がります。（中略）また、子どもたちには「共感的で、肯定的で、寛容であること」が大切という内容には、勇気づけられました。私は、自分の「ダメ」の基準が周囲と異なり、子どもたちを叱ったり諭したりすることが苦手です。お話を聞いて自分の寛容さが子どもたちの自尊感情を大切にしたい支援に繋がるかもしれないと思えるようになりました。（学生）

■ご家族の方の感想

- 合理的配慮を行えないのは差別だというお言葉にその通りだなと思いました。子供の視点に立って、学校は子供に夢と希望を与えるところ、できないところを頑張らせるところではないという事をお話されていて、全国の学校の先生に坂井先生のお話をもっと聞いてもらいたいと感じました。私も子供がセルフエスティームを高められるよう、生まれてきてよかったと感じられるよう自宅での支援を心掛けたいと思えます。
- 坂井先生のお話が面白くて、クスツと笑いながら聞いていました（Panasonicからお金のくだりなど）。合理的配慮をお願いする時に心掛ける事 ①先生がやりがいがあるようにする事 ②先生が評価される機会を作る ③学べる機会があること。なるほど、と思いましたが、なかなか難しいです。
- 「合理的配慮」が義務付けられるようになったのは知っていましたが、それに至るまでの道のりは険しいな（＝学校をはじめ世の中は何一つ変わっていない）と言うのが正直な感想です。先生が提示された視点や考え方を変えてみながら具体的方法を試してみようと思えます。



パルレ活動報告



子育てピアトーク

今回は「思春期の子育て」をテーマに、具体的な困りごとから「親ができる子どもへの支援はなんだろう?」「親にもこんなサポートがあればいいのに」など、みなさんとともに語り合い、ともに考えました。ゲストは中田洋二郎先生。時間も人数も拡大版。多くの方に参加いただきました。

■参加者のご感想

- いろいろと考える機会を頂きました。ゆっくり付き合っていきたいです。
- 皆さんから色々なお話しが聞けて良かったです。そこに中田先生のコメントが入って、とても勉強になりました。

今後の予定

パルレ会員 は、パルレの会員の方限定です。

要申込 は、申込が必要です。

★ は、どなたでも参加できます。

申込先メール: moushikomi@npo-parler.com

【パルレ】 予定が変更になる場合があります。パルレMLでご確認を。

■パルレヨガ 大井町事業所

パルレ会員 **要申込**

9月7日(土)・10月5日(土) 14:00~15:30

※8月は夏休みといたします。

◇講師:三澤 美奈氏(ヨガセラピスト) ※初回無料

◇参加費:各回 大人1名 1,000円または家族で2,000円

■パルレで話そう ボランティアセンター 住居棟 1003号室

9月11日(水) 14:00~16:00 (開始時間を変更しました)

◇参加費無料 ※今年度も隔月で開催いたします。

パルレ会員

■子育てピアトーク 大井町事業所

要申込

9月21日(土) 10:00~11:30

※パルレ会員優先

◇会員無料、非会員500円

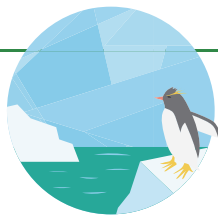
【よかりんく】 大井町事業所

■ボードゲームクラブ 第1水曜日

■Switchクラブ 第2、第4水曜日

■将棋倶楽部 ■鉄道クラブ 休会中

(活動は、今後の感染状況により、変更になることがあります)



ら・るーとホームページのアドレスが新しくなりました

お気に入りやブックマークなどに登録されている方は、お手数ですが変更をお願いいたします。

新アドレス: <https://www.rarut.net/>

- 男親の気持ちなどが聞けてとても良かったです。
- ペアレントトレーニングに通っていた頃のことを思い出しながら参加させて頂きました。

子どもの成長とともに学べる場も少なくなり、改めてこういう機会を頂けたことに心より感謝申し上げます。中田先生とも久しぶりにお会いできて嬉しかったです。

- 頭にほんわかあったものが、先生のトークでまとまりある内容で自分に落ちました。

思春期時期の細分化した課題をテーマにピアトークができたなら嬉しいです。

- いろんな方とお話できてよかったです。熊谷さんと、中田先生がいらっしやっただので、安心して話せました。



【ら・るーと】

■2024年度 第3回啓発講演会

★ **要申込**

「当事者と一緒に考える発達障害 自分らしくHAPPYに生きるとは」

第3回の啓発講演会は、発達障害のある人のウェルビーイングな暮らしをテーマに、当事者であり、公認心理士でもある綿貫愛子さんにお話しいただきます。綿貫さんのご経験や専門知識を通し、発達障害のある人が自分らしくHAPPYに生きるために必要なことは何か、ともに考える大切な2時間です。ぜひご参加ください。

8月24日(土) 14:00~16:00

◇講師:綿貫 愛子氏(ASD当事者、臨床発達心理士)

◇会場: **オンライン**会議室Zoom ※後日配信あり

◇資料代:無料

◇定員:150名(当日参加)/100名(後日配信のみ)

■ステップアップ講座

★ **要申込**

上原 芳枝氏(リソースセンターone代表理事 臨床発達心理士)

支援者向けの連続講座です。

◇会場: **オンライン**会議室Zoom

第1回「発達特性の理解と対応① 特別支援教育とは何か」

9月7日(土) 13:30~16:00

第2回「発達特性の理解と対応②『不適切な言動』はなぜ起きる」

10月5日(土) 13:30~16:00

第3回「発達特性の理解と対応③ 集団における支援の実践」

11月9日(土) 13:30~16:00

◇申込開始8/1~ ◇資料代:無料

■ペアレント・トレーニング

★ **要申込**

中田 洋二郎氏(立正大学名誉教授)

◇会場: **オンライン**会議室Zoom

※品川区民・対象年齢有り

1期 水曜講座 10:00~12:00 ◇資料代:1000円×6(初回一括)

9月11日 / 9月25日 / 10月9日 / 10月23日 /

11月6日 / 11月20日